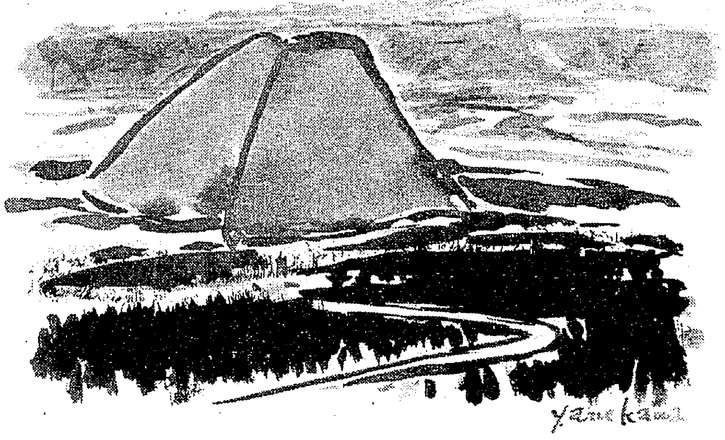
山のある風景



米塚と外輪山 画（墨淡彩） 17分会 姉川良男

阿蘇登山道路は草千里を経て中岳に通じるが、外輪山のカルデラ壁の壮大な展望と、車窓に迫る生々しい噴火の痕跡は迫力満点。途中から見おろす米塚は、山分けの伝説を秘める丘で杵島岳の寄生火山。可憐な姿が美しい。

姿見 和解の話が

西ブロック 沖 昭子

四山県境のスーパーで買い物をしていましたら、昔（結婚前）の友人にばったり出会いました。

久しぶりのあいさつを交わしたあと「ご主人はまた大変でしょうね」といわれました。私は何のことだろうかと返答に困ったのです。

とっさに、裁判の和解のことではないかと思って「これまでの裁判で、早く会社の責任をはっきりさせていれば、有明鉱の大災害も起こらんやったのにね」といったところ、友人は「本当よ。がんばらんとできんよ。私もいつもかげながら支援しよっとよ」と励まされました。

友人とはいえ、これまで年賀状の交換や、病気で入院したときに見舞にきてくれたり、選挙などのときこちらから一方的に頼みにいくぐらいの友人関係でしかなかったのですが、その友人に答えた私自身の言葉は、本当にそうなんだろうかと考え込んでしまいました。

思えば、私の二十二年間の結婚生活そのものがCO闘争の明け暮れでした。被災前に結婚したのですが、夫の入院中に出産し、夫が退院してからも低賃金のために共稼ぎをしなければなりませんでした。

子供たちは当然とはいえ、幼いときから保育園育ちでした。ある日、娘から「わたしを五年間も保育園にやって、友だちはいつもお母さんとおらすとに、お母さんは継母ではないと」といわれたこともありました。

そんな子供たちも、大きくなるにつれて理解してくれるようになりましたが、本当にいろんな意味で苦労をかけたのです。

お産のあと、お宮参りもそこそこに、座り込みの動員、上京、交流会、裁判の傍聴など、懸命のたたかいを続けてきました。

そんな中で、裁判所から和解の話があり、それを受けるかどうかが問題になっています。

働く者の生命を守り、ふたたび大災害を起こさないための三池のCO闘争が、これで終わってしまうのではないかと心を痛めているこのごろです。

生き甲斐のある老後を 『三池退職者の会』が総会

三月二十四日午前十時から、労働金庫大牟田支店二階ホールで『三池退職者の会』第十四回総会が開かれました。

総会には百数十人の会員が出席して会場は超満員。古賀会長のあいさつのあと、榎下大牟田高齢者・退職者連絡協議会会長、田口三池労組書記長、大橋大牟田市会議員（議員団代表）が激励と連帯のあいさつをおくりました。

田口書記長はあいさつの中で、三池労組をとりまく情勢について述べるとともに、終盤を迎えたCO闘争への協力と、「CO・遺族守る会」への加入を訴えました。

祝電披露のあと、議長団を選出し、一年間の物故者への黙とうを捧げ、議事では経過報告、決算・監査報告が確認され、新年度の活動方針が承認されました。

「三池退職者の会」のスローガン

① スクラムを固め、老後の生活安定を
② 仲間を励まし、手をとり合って老後の健康を
③ 高齢者に適した職場の造成を

質問に答えて

質問 三井三池健康保険組合の扶養親族の収入限度額はなぜ六十五万円なのですか。他の事業所では九十万円以上になっているようです。不当な取り扱いだと思うのですが、どうなっているのでしょうか。

お答え おたずねのようにまったく不当です。

三池労組は、毎年の労協・福利要求の中央交渉でも百万円に引き上げるよう（厚生省の指導は九十万円）会社に要求しています。

三池健保組合は、炭鉱というきびしい労働条件と高齢化の中で療養費、傷病手当金が他事業所に比較して高額であり、加えて扶養親族も多く、日本一の赤字健保組合といわれ、五十八年度の実績で約二十三億円の累積赤字となり、国庫から約一億六千万円、健保連から約三億円の補助を受けています。

そのために厚生省、健保連からの強い要請（圧力）があり、健保組合として自主的に六十五万円と決めています。また、打ち切りのために調査を強要したりしています。

このほかにも赤字による不利益な取り扱いを受けていますので健保の理事会や組合会の中で皆さんの要望について主張しています。くわしいお問い合わせは厚生部まで。

（厚生部）

4月のこよみ

○…卯月。一日は新学年、新財政年度スタート。ウソが許されるエープリル・フール。七日はキリスト教の復活祭。八日は釈迦の誕生日。十日は婦人週間の始まり。婦人の初の参政権行使（一九四六年）の記念日。二十九、三十日は特定休日で二十八日から三連休。新たな意気込みでメーデーに参加を。

○…春たけなわの四月。といっても寒暖の変動が大きく、下旬には遅霜のおそれが。太平洋側では曇りや雨の肌寒い時期もありそうです。沖縄は平年並みの暖かさですが、そのほかは平年より低い見込みです。降水量は沖縄で多いほかは、平年並みとなるでしょう。

○…春は行楽のシーズン。水筒は必携品。保温・保冷を目的とした水筒には、①魔法びん、②保温水筒、③ステンレス製真空二重びんの三種類があります。①は二重ガラスびんの間を真空にして銀メッキしたもので保温・保冷力は抜群ですがこわれやすく、②は丈夫ですが保温・保冷力が劣り、③は高価で目方が重いのが欠点です。

くらしの知恵

鉢植えに卵の殻

鉢植えの周りに、半分割りした卵の殻を逆さにしておいておくと植物が生き生きしてきます。卵の白身に含まれる窒素肥料の成分の一つ、有機質が作用するからです。また、卵の殻の灰分も肥料になります。殻を砕いて土に混ぜるのも効果的です。ベランダ菜園のパセリやサラダ菜などで試してください。葉が青々としてきます。

コーヒーかすの利用

コーヒーの出がらしを灰皿の底に敷くと、タバコの火をもみ消すたびに、コーヒーのかすが焦げて芳しい香りがします。コーヒーのかすは、湿り気を含んでいるのでタバコをこすりつけなくても火が消えます。

4月の園芸

十三分会 田上 勇

ツツジの盆栽作り

サツキの盆栽が盛んになり数多くの名品が育っていますが、ひと足先に咲くツツジの盆栽作りに挑戦してみませんか。ツツジは花が早く楽しめ、少々刈り込んでもよく花が付き、根張りもよく幹肌も荒く力強い樹形となり、小輪で派手な色合いの花が多く、見ごたえがあります。素材は旧家の庭先や裏庭などにあるものを譲ってもらってはいかがでしょう。

まず掘りあげたら枝と根を切り込み、根は水洗いして土を落とし、根張りや立ち上がりを見て正面を決めます。鹿沼土七、荒砂三の割で植え込み、半日陰の場所に置いて芽吹いてくるのを待ちます。秋には不用な枝を除き枝作りをします。

時期としては五月頃までが適期ですが、早く鉢上げするといままで土中にあった部分などは寒さのために幹がいたむことがあり、遅くなると根付きが悪くなり、芽吹きなど悪くなりますので要注意です。

シャクナゲの植え替え

四月中旬までに終えましょう。用土は酸性土壌を好みます。排水や通気性がよく、保水力のある鹿沼土に腐葉土を三割ぐらい混ぜて植え込み、最初は日陰で育て、根付いたらときどき日光に当てて花付きを良くします。肥料はやりすぎて失敗する例が多いようです。秋から与えるようにします。高温多湿になると葉枯病、褐斑病、菌核病などが発生します。過湿にならないようにしましょう。ベンレート・マンネブダイセン水和剤、ダニコール水和剤などを散布、グンバイ虫、アブラ虫、ツボミ虫などにはダイシストン粒剤を根のまわりに埋めます。

おもとの植え替え

桜の花の咲く頃が植え替えの好期です。まずオモトを鉢から抜き取り、この機会に筆を使って茎や葉、根などきれいに洗い植え替えます。鉢底には小石を敷き、木炭を入れ、次に荒砂を入れ、小さ目の砂で植え込みます。表面は米粒ぐらいにして、水ゴケを敷きます。しばらくは日陰に置き、水は切らさないようにして下さい。肥料は植え替え後二十日ぐらいしてから油カスの置き肥を三カ所にします。斑入り種は日やけに弱いので管理に気をつけて下さい。

消毒について

消毒は害虫・病菌を的確につかみ、正しい防除をすることで成果があがります。私など結果的に気安めで消毒しているのですが……。早期発見が大切で、日常の観察が重要な役目を果たします。

小枝が一カ所から多く発生する天狗巣病は伝染性（アスナロ、ツツジ、サクラなど）と非伝染性（スギ、マツ、ツゲ、ニセアカシア）などあり、ともに患部から切り取ります。

四月から五月にイブキやシンパクの枝先に橙色の寒天状のものができるのはビャクシン類のサビ病で、ここから胞子が出てボケ、カリン、マルメロ、ナシなどに伝染します。ビャクシン類とボケなどを一緒に植えないようにします。